

2014年度 前期		リフレクションペーパー					
学科名	電気通信工学科						
科目名	発電電工学						
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	3年前期		
必修・選択の別	選択科目(組込みシステムコース)/選択必修科目(電気エネルギーコース)/選択科目(情報システムコース)						
担当者	松崎 隆哲						
授業の到達目標(シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・水力発電の原理と設備について理解し、出力の計算ができる。(A1,C7) ・火力発電の原理と設備について理解し、熱効率の計算ができる。(A1) ・原子力発電における仕組み、核反応及び原子炉形式について理解し、発電効率の計算ができる。(A1,A9) ・変電機能について理解し、輸送電力の計算ができる。(A1,A10,C6) 						
日程と内容	4/8 導入講義：講義内容の概略と授業の進め方、成績評価法、電気エネルギーとは 4/15 水力発電所の発電方式と水力学 4/22 水力発電の原理 4/29 ダムと付属設備 5/13 発電計画と発電計算 5/20 火力発電と熱力学 5/27 火力発電所の仕組み 6/3 火力発電所の設備 6/10 火力発電所の熱効率計算 6/21 原子力発電の原理 6/24 原子炉の基本構成と炉形式 7/1 新エネルギー発電 7/8 変電の仕組みと電力の輸送 7/15 総合演習 その1 7/22 定期試験 7/29 総合演習 その2						
成績評価基準	定期試験	70%	実技				
	臨時試験		部外評価				
	報告書・レポート		プレゼンテーション				
	課題		計	100%			
	演習	30%					
授業到達目標の達成度	授業内容に関して、いずれの到達目標に対しても概ね達成している。						
反省点	発電・変電とあまり身近でない講義内容であることから、例年発電の種類についての理解が難しかったことから、演習や発電所・方法の調査などで、発電・変電に興味を持ってもらおうとしたが、表面的な調査で終わった学生が多かったので、もう少し興味を引くような内容を取り入れられれば良かった。						
来年度の計画	発電の種類と特徴をしっかりと習得できるように、授業内容・演習を工夫したい。						
授業評価アンケートに対するコメント	時間外学習(授業外の予習・復習)が3.4と少ないことも、授業内容の理解が低い(3.7)理由と思われるので、時間外に学習するための工夫が必要と思われる。						
履修登録者数	37名	定期試験 受験者数	34名	合格者数	24名	合格率	71%